

医第04220001号

令和 4年 4月 22日

各関係団体・事業者 御中

和歌山県福祉保健部長

(公 印 省 略)

新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）検討についてお願い

平素より本県の行政に多大なる御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県における新型コロナウイルス感染症発生状況ですが、職場内でのクラスターが複数発生するなど、感染者数が高止まりしている状況です。

新型コロナウイルスワクチン接種の発症予防効果や重症予防効果は、1・2回目接種後時間の経過とともに低下し、3回目の接種を行うことにより回復することが厚生労働省の専門家会議において報告されています（別添「図1」参照）。

また、本県においても、第六波の感染者における新型コロナウイルスワクチンの接種状況を分析したところ、ワクチン接種回数に応じて罹患率が減少する結果となっており、3回目接種の有効性が示されています（別添「図2」参照）。

つきましては、自らのみならず、御家族、職場の方など身近な方の命を守るためにも、新型コロナウイルスワクチンの接種を御検討いただきますよう、所属の皆様方にも御周知のほどお願い申し上げます。

和歌山県福祉保健部健康局医務課

新型コロナウイルスワクチン接種支援班

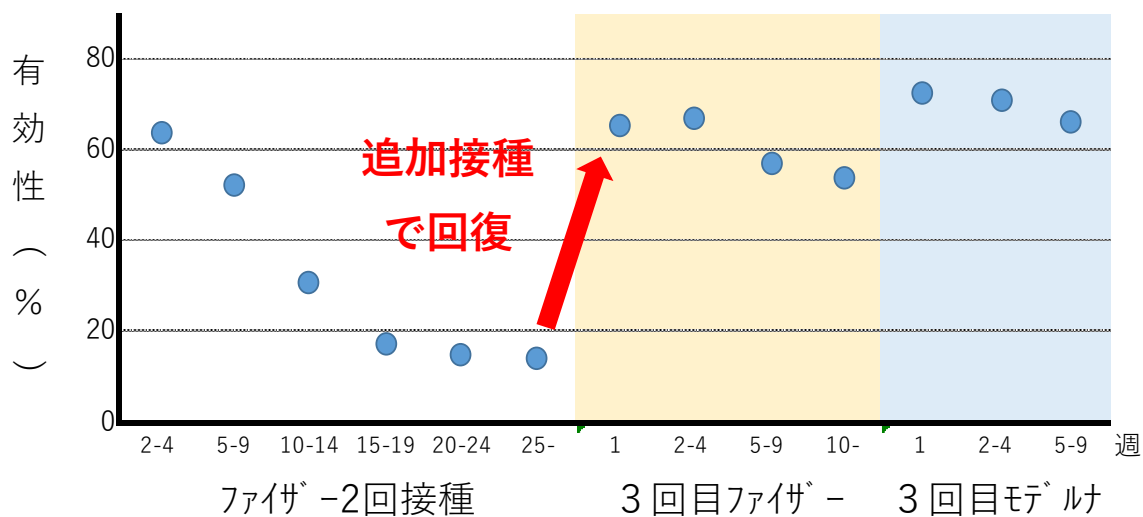
鈴木、神谷

電話：073-441-2514

FAX：073-436-0035

図1 オミクロン株に対する2回目接種後及び3回目接種後の発症予防効果推移

- 2回目接種後一定期間経過により発症予防効果が低下
- 3回目接種（ファイザー・モデルナ何れも）により発症予防効果が回復

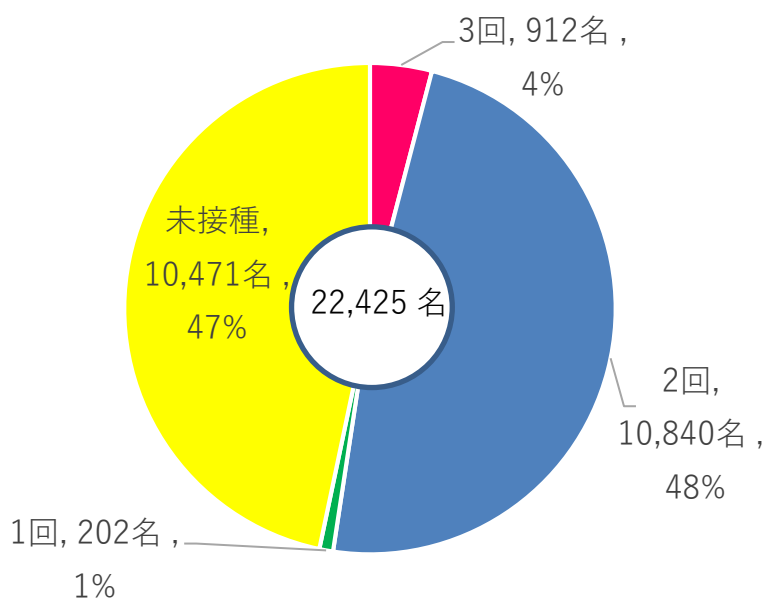


(厚生労働省資料)

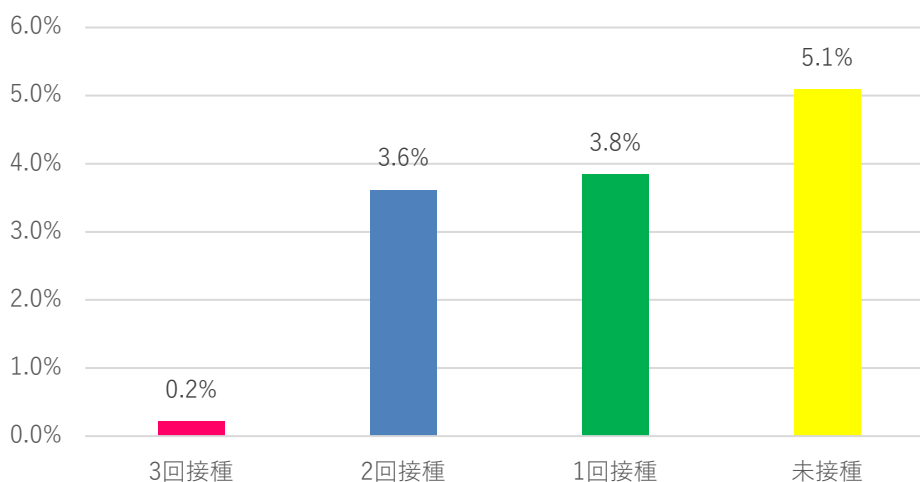
図2 第六波感染者（県内）における接種回数及び接種回数別罹患率
（令和4年3月28日現在）

○ワクチン接種回数別の罹患率では、3回接種済者は0.2%と極めて低かった。
○また、2回接種済者は未接種者の罹患率の約7割になっており、ワクチン効果が減弱していることがわかる。

1. 感染者のワクチン接種回数



2. ワクチン接種回数別罹患率



(和歌山県資料)